

第 8 回 出雲市・斐川町合併協議会 会 議 録

日 時：平成 22 年 11 月 5 日（金） 10 時 30 分から

場 所：出雲市役所 くにびき大ホール

1 会議の名称等

会議名	第8回出雲市・斐川町合併協議会					
開催日時	平成22年11月5日（金） 10時30分～11時6分					
開催場所	出雲市役所 くにびき大ホール					
出席状況	委員総数	16名	出席委員数	12名	会議の成否	成
会議録署名委員	多々納 弘委員（斐川町）			松浦 剛司委員（出雲市）		

2 会議の出席者

（1）委員等

所 属	出 雲 市	斐 川 町
市長・町長	◎ 長 岡 秀 人	○ 勝 部 勝 明
議 長	山 代 裕 始	（欠 席）
議 員	寺 田 昌 弘	（欠 席）
	福 代 秀 洋	多 々 納 弘
学識経験者	萬 代 宣 雄	（欠 席）
	江 田 小 鷹	岡 正 明
	武 田 睦 弘	須 田 日 出 男
	松 浦 剛 司	昌 子 好 見
	（欠 席）	下 手 泰 子

◎ 会長、○副会長

※欠席：渡部 美知子委員（出雲市）、黒田 充委員（斐川町）、足立 成久委員（斐川町）、
周藤 昌夫委員（斐川町）

所 属	氏 名	職 名
出 雲 市	勝部 一郎	監査委員
斐 川 町	小村 克利	監査委員

（2）幹事会等

所 属	氏 名	職 名
出 雲 市	◎ 黒 目 俊 策	副 市 長
	河 内 幸 男	副 市 長
	伊 藤 功	総合政策部長
斐 川 町	○ 吉 田 稔	副 町 長
	高 田 茂 明	参 事

◎ 幹事長、○ 副幹事長

(3) 事務局職員

役 職	氏 名	所 属	備 考
事 務 局 長	鎌田 靖志	出雲市	総括
参 与	奈良井 浩人	島根県	専門的助言・調整
事務局次長	今岡 範夫	出雲市	(調整1班班長兼務) 総務・企画、財政、議会、消防関係
	川内 章正	斐川町	(調整2班班長兼務) 住民・福祉、教育・文化、産業、 建設・上下水道関係
総務班班長	三浦 俊明	出雲市	基本計画、財政計画、会議運営、 庶務・広報
総務班班員	鬼村 修治	斐川町	
調整1班班員	周藤 学	斐川町	
調整2班班員	園山 博之	出雲市	

3 議題

開 会

- 1 会長あいさつ
- 2 会議録署名委員の指名について
- 3 経過及び今後の予定について

閉 会

4 議事の要旨

別添資料及び次のとおり。

開 会

[奈良井参与] (司会・進行)

ただいまから第8回出雲市・斐川町合併協議会を開会いたします。

本日の進行役を務めさせていただきます、事務局の奈良井と申します。よろしくお願いいたします。

はじめに、会議資料の確認を頂きたいと思いますが、本日の会議は、「第8回出雲市・斐川町合併協議会 会議資料」により進めさせていただきます。お手元にございますでしょうか。

～確認～

本日の会議は、委員16名中12名のご出席でございますので、出雲市・斐川町合併協議会規約第10条第1項の規定により、会議が成立しておりますことを報告いたします。

ここで、長岡会長からあいさつを受けたいと思います。

1 会長あいさつ

[長岡会長]

皆さんおはようございます。急なお願いにもかかわらずお出かけ頂きありがとうございます。

既に委員の皆様にはご承知のように、去る10月26日の斐川町議会において、合併関連の議案がいずれも否決されたということでございまして、非常に残念な気がしております。このことについて、7回に及ぶ法定協で協議頂いた委員の皆様方にいち早くご報告をすべきところでございますけれども、本日まで開会が遅れましたことをお詫び申しあげたいと思います。今さらいろいろ申しあげてもどうしようもない話でございますが、合併については両議会の議決というのが一つのハードルと言いますか、そうなっております、よもや、あれだけの住民投票の結果を受けてこういった結果になろうとは、予想だにしていなかったというのが正直なところでございます。ただ、我々が今まで委員の皆さんと一緒に協議頂いた、また委員の皆様だけではなくて、両市町の職員によるワーキンググループが、本当に多くの時間を割いて、一緒になって良いまちを創っていこうという思い、そのことについてはいささかも変わる事はないだろうと思っております。いずれにしても残念な気がいたしますが、今日はお集まり頂いて、この経過について改めてご報告申しあげ、今後の対応についてご協議させて頂きたいということでございます。

実は昨日、斐川町議会の議長さん、副議長さんがおいでになりまして、何か大事な話でもあるかと思ってお話を聞かせて頂きましたが、単に先般の議会の結果の表を頂きまして、こういうことになりましたということでした。明日、法定協があるが、議長としてやはり出席すべきではないかという話を、私からも申しあげましたが、出ないということでございまして、これも残念な思いがしております。

くどくどと申しあげる考えはございませんが、今回のいろいろな事態、私の個人的な思いを少しお話しさせて頂きますと、論語の中で孔子が言っておりますが、「君子は周して比せず、小人は比して周せず。」という言葉があります。斐川町の今の状況が、そういうことにならないことを願うばかりでございます。

こののち、副会長であります勝部町長さんのほうから、経過等について、また斐川町としての今後の対応についてお話を頂く予定としておりますので、その経過等をふまえたうえで、委員の皆様方の忌憚のないご意見をお聞かせ頂きたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

[奈良井参与]

ありがとうございました。

ここからの進行は長岡会長お願い致します。

2 会議録署名委員の指名について

[長岡議長]

それでは、会議録署名委員につきまして、私が指名させて頂きます。ルールに従いまして今回は斐川町議会議員 多々納弘委員と出雲市学識経験委員 松浦剛司委員にお願いしたいと思います。

3 経過及び今後の予定について

[長岡議長]

それでは、次第の3 経過及び今後の予定について、第7回合併協議会以降の経過について資料5ページにのせておりますのでご覧頂きたいと思っております。

ここで、斐川町の状況について副会長の勝部町長から報告頂きたいと思っております。

[勝部副会長]

おはようございます。委員の皆様方にはご多用の中ご出席を頂きまして、第7回のところでいただいた方針は全て出たと思っていたところでございますが、こうしてまた今回8回目でございますけれども、開いて頂くという状況になったところでございます。斐川町の住民投票と臨時議会の状況、そして今後の方針につきまして、ご報告、ご説明させて頂きたいと思っております。

先ほど会長のごあいさつにもありましたが、去る10月26日に、斐川町議会の臨時会を開催して頂きまして、合併関連の3つの議案、廃置分合、廃置分合にかかわります財産処分の協議、そして議員の定数についての協議と、3つの合併に絡んだ議案と、電算統合についての補正予算、この4つを提案したところでございますが、資料に書いてありますとおり、そのいずれにおきましても賛成少数により否決となったところでございます。

臨時議会に先立ち実施いたしました出雲市との合併の賛否を問う住民投票でございますが、これも既にご承知のこととは存じますが、賛成が9,743票、反対が5,991票ということで、その差3,752票という大差で賛成多数の結果となっておりますし、また議会で提案頂きました合併についての住民投票条例でございますけれども、その条例の規定におきましても、住民投票の結果を尊重すると書かれているところでございます。当然私としては、住民投票の結果からいたしまして可決されるものと理解していたところでございますけれども、町民の皆さんの民意というものを議会のほうでもご理解いただけるものと考えておりましたが、結果としては、信じられないという結果になってしまったところでございます。誠に遺憾に思っております。このことで、出雲市の皆様方、議会の皆様方、出雲市ご当局の皆様方、そして合併に賛成して頂いております、期待されております多くの町民の皆様方や、関係の皆様方に、大変なご迷惑とご心配をおかけしたところでございます。斐川町政を進める責任者として、誠に申し訳なく、ここにお詫びを申しあげる次第でございます。

私といたしましては、住民投票で示されました合併推進の民意に基づきまして、と言いますか、民意を大切にいたしまして、合併を成就させる気持ちには、いささかの揺るぎもないところでございます。一方、斐川町議会のこのような議決が、出雲市との信頼関係を損ない、また斐川町に対する不信感につながることであれば、この地域にとりまして計り知れない、大変な大損失をもたらすものと、本当に懸念をしております。

従いまして、今後議員の皆様方のご理解を得たうえで、12月定例会までのできるだけ早い機会に、合併4議案を再提案いたしまして、可決されるように最善の努力をしてみたいと考えております。

合併協議会委員の皆様方はもとより、出雲市民の皆様方、そして斐川町民の皆様方の引き続いてのご理解とそしてご協力、ご支援を頂きますよう、よろしくお願いを申しあげまして、報告と、これから進んでいくべき私の考え方とを述べさせて頂きました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本当にご多用のところ、今日は第8回の会議を開いて頂きまして、誠にありがとうございました。

[長岡議長]

ありがとうございました。

経過、そして今後の対応について、町長から報告がありましたが、ここで、委員の皆様方から、今回の事態を受けて、今後どうすべきかといったことも含めて、それぞれご意見を頂戴したいと思います。

多々納委員。

[多々納委員]

斐川町の議会選出の委員といたしまして、一言お詫びを申し上げたいと思っております。本日の合併協議会には、斐川町議会選出の3人の委員が出かけまして、去る10月26日の斐川町議会の合併議案の否決につきまして、お詫びを申し上げるのが本来でございますけれども、本日は黒田議長、足立議員、二人とも欠席をしているような現状でございます。中でも、中立、公正であるべき黒田議長まで欠席するということは、斐川町議会は、もはや議会としての機能を果たしていないと申し上げなければなりません。誠に申し訳なく思っております。どうぞ皆様方のご寛容なお気持ちでお許しを頂きたいと思っております。私どもは、合併議案の再議決に向かいまして、今全力で取り組ませて頂いております。また、町民発議によります議会刷新への運動も行われておりますのが現在でございます。民主主義の原

理原則も分からないような斐川町議会でありますけれども、皆様には大変ご迷惑、ご心配をおかけしておりますことを重ねてお詫び申しあげる次第でございます。どうか事情をおくみ取り頂きまして、今しばらく猶予を頂きますよう、お詫びにあわせましてお願いを申しあげまして、お詫びのごあいさつとさせていただきます。どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。

[長岡議長]

ありがとうございました。

どなたからでもよろしゅうございますが、全体的に、寺田委員長さん、議会の特別委員長という立場で。

[寺田委員]

先般も特別委員会を開催したところでございます。いろいろな意見が出たところではございますが、今しばらく斐川町さんを見守ろうと。先ほど町長さんもおっしゃいますように、いろいろ計画されているなという感じがしております。従って、今しばらく見守ろうという結論に達したところでございます。以上です。

[長岡議長]

ありがとうございます。他の委員さん方。

須田委員さん。

[須田委員]

申し訳ありませんが、何をお話するということでしたでしょうか。

[長岡議長]

今回の経過と今後の方向についての町長さんのお考えを踏まえて、全体についてのご感想、ご意見、その他何でもよろしゅうございます。今後どうすべきかということも含めてお話し頂きたいと思います。

[須田委員]

なかなか言いにくいことですが、私は協議会の委員ですので、合併協議会の協定項目を審議したり、7回までやっていましたので、それが私どもの役割だと思っておりまして、今後どうあるべきかということには、立場にないということだと思います。町長さんが先ほど、定例議会でしたか、それまでに再度上程されるということなので、私どもは合併協議会の委員である限りは、その推移の中で会長が進められる協議会に全面的に協力してやっていくと、私は思っています。

[長岡議長]

ありがとうございます。

萬代委員さん。

[萬代委員]

経過はご案内のとおりでございまして、その中でどう思うかということですが、市長も会長という立場で、今しばらくということでございますし、町長さん、多々納議員さんから、もう少し努力したいとおことわりもされながら、そういう思いの披瀝があったわけでございます。出雲市民の中でも色々な事を言っているのは事実です。出雲市民も斐川と一緒にすることを良いか悪いか投票せよと。出雲も言いたいことがあるよと。そういうような話も私どもの耳には入ります。それはそれ。先程のようなお話でございますので、肅々とそういう方向で努力をされるということでございますので、これを、先ほど委員長さんの言われますように、見守ることが我々の立場ではないかなというように思います。

それから、もう一回再上程するということでございます。今まで私も出雲の議会の中で、いろいろ

な難しい議案などもあったことがございますが、首長という立場であったり、議会の議長という立場であったり、いろいろな立場でそれなりな、変な意味ではなしに、根回しというものが当然あってしるべきだし、そういう中で、再上程したと、またというようなことだけは、世間も。最後はいろいろなことがあったけど、きちんと方向付けされたと言われるように、住民本位でのそういう方向付けを期待するということだろうと思っております。いい塩梅に、ひとつ頼みます。

[長岡議長]

ありがとうございます。
それでは、お隣の江田委員さん。

[江田委員]

これはもう、民意が示されていると思いますので、しばらくは静観したいと思います。

[長岡議長]

ありがとうございます。せっかくお出かけでございますから、皆様方から。
岡委員さん。

[岡委員]

商工会長としてどのように申しあげて良いか分かりませんが、まず民意としては、投票者数の約62パーセント近い方が、合併という意思を示して頂いているわけです。そのへんのことを議会の方々がよく考えて頂いて、もっと真剣に討議をしてもらえたら、何とか民意が生きてくるのではないかなと思っています。どういうことで反対かということが、私どもとしても何故絶対反対なのかということがよく見えてきておりません。そのあたりに、斐川町の議会議員さんをもっとわかるような形でお話頂ければ、もっと納得がいくのではないかなとは思いますが、今の段階では、とにかく町長さんをはじめとして、議会の皆さんに民意ということを大事に取り扱って頂けたら一番良いのかなというように思っております。

[長岡議長]

ありがとうございます。
松浦委員さん。

[松浦委員]

先ほど須田さんもおっしゃいましたが、私どもは協定項目をお話しする立場で、今の状態は斐川町議会の話ですので、合併協議会の委員としては、あまり発言する立場にないのではないかと思います。萬代委員さんがおっしゃったように、私の周りでも、世間というものは、斐川町に対して非常に辛らつな意見もあるということは、十分聞きながらここにまいりました。一方で、斐川町の民意が、9,700人の皆様がこういう意見を出されていることに対して、こういう現状に至っているというのは、今後も見捨ててはおけないなという思いはあります。

一つ質問といいたいでしょうか、これで、12月で否決されたらどうされるのかというのが、普通に思う疑問でございます。今の時点、この間の議会の時点から何か変わった材料でもお持ちで、そういうような動きをされて、説得されて、行動されるのかよくわからないのですけれども、普通に考えて、合併するまでずっと出し続けられる類のものなのか、疑問を感じる点はございました。

[長岡議長]

松浦委員さんの質問について、勝部副会長。

[勝部副会長]

先ほど萬代委員さんからの発言にありましたが、何事も成就させるためには根回しが極めて大切だと、こういうようなご意見も頂いているところでございまして、次回議会を開くということになりま

すと、その見通しも立てながら召集していきたいという、大変強い気持ちを持っているところでございます。民意は、6対4という形で、多くの皆さん方が合併を求めておられますので、私としては町民の皆さん方の意思というものを、何としても成就させていかなければならない。このためには、松浦委員さんがおっしゃったことをよくよく考えながら、進めていきたいと思っております。投票されましたその結果もよく分析いたしまして、進めていきたいと思っております。

[長岡議長]

武田委員さん。

[武田委員]

一言で申しあげまして、非常に残念だという思いでございます。この合併協議会が成立した経過、住民投票で斐川町の皆さん方が賛成をなさった、かなりな数で賛成をなさった、それをふまえたうえで、議会の皆様方と町民の方々との考え方の乖離と言いますか、まさにねじれ現象と言いますか、今の議会の皆様方も選挙によって選ばれた方々ですけれども、4年前の状態と現在の状態とではかなり変わってきているかな、そういう意味で町民の皆様方の思いと議会の思いとの食い違いというのが、非常に残念と言いますか、考えられないという思いでいっぱいでございます。私も斐川は非常に関係の深いところでございまして、ぜひ、一つの出雲圏域として、大きな出雲市として、これから大変な社会情勢ですけれども乗り切っていかなければならない時期に、離れていかれたというのは、本当に残念の一言でございます。今まで私どもが何をやってきたのかという思いも一緒になって。それしか言いようがございません。何とか措置を講じて頂きたい、そう願っております。

[長岡議長]

ありがとうございます。昌子委員さん。

[昌子委員]

一言、私の思いを申しあげたいと思いますが、先ほど須田委員さんも仰っておりましたように、私の立場としては合併協議会の委員として出かけさせて頂いて、もろもろの協議が、委員としては賛成で成立をして、しかもそれで調印式も終わったと、こういうことですから、斐川町の方の皆さんがこれでもう成就するんだという気持ちがあるのだと私は思いますけれども、議会のことに対しては我々はいろいろなことを発言する権利もございませんから、このことの決定について、結果がこういうことだったということは、誠に残念だと私は思っております。できるだけ早い時点で、何とか良い方向に向かってもらいたいという気持ちであります。

[長岡議長]

福代委員さん。

[福代委員]

出雲市議会の対応としては、先ほど寺田委員長から話があったとおりで、しばらく出雲市としては何も動くことはできないというのが実情だと思っておりますが、ただ、静観すると申しあげても、いつまでも静観しておくことはできないというのが本当のところでございます。ある程度の早い時期において、中長期的には方向性は一緒だいたしまして、短期的には、我々としても目の前に迫っている問題を、一つ一つ解決していかなければいけない、あるいはそれぞれの市、町でそれぞれの問題を抱えているという部分があると思いますので、いつまでもこれを中途半端な格好にしておくことはできないということは、事実だろうと思います。そういった意味におきましては、斐川町長さん、議会におかれましては、そのところを十分考えて頂きたいと、私としては感じております。

[長岡議長]

下手委員さん。

[下手委員]

委員としてどういうふうに言って良いのかはよくわからないのですが、一人の斐川町民として思うことは、今度の住民投票で、賛成が多くても反対が多くても、それは尊重して頂けるということを信じていたところがあったので、それに関しては本当に残念に思いました。今後議会でどういうふうに判断されるかはわかりませんが、最大限に、これだけの結果が出たので、この結果を尊重して頂きたいという思いでいっぱいです。

[長岡議長]

ありがとうございます。では山代委員さん。

[山代委員]

議会といたしましては、先ほど寺田、福代正副委員長さんが言われたとおりで、出雲市はしばらく静観ということでございますけれども、斐川町議会で、議員提案で条例が可決されまして、民意を尊重するということだったろうと思いますけれども、住民投票でご案内のような大差がついたということで、民意が尊重されるかなと思ったところ、否決されたということで、残念というか、議会の皆さんは何を考えているのかなというような感じがするわけでございます。その中で、この法定協議会で7回の協議会を開催いたしまして、大方の議案につきましては、一部反対の人もいらっしゃいましたけれども、大方の議案はまとまったところでございましたけれども、何故こういう結果が出たのかなと。一番大きいのは、先ほど岡委員さんが言われましたように、何で反対かなと、反対理由というのが、見えてこない、はっきりした反対理由というのが私には見えてこない、何がどうで反対なのか今でも疑問に思っているところです。それともう一点は、先ほど松浦委員さんが言われましたように、斐川町では再提案するということでございますけれど、今の状況で再提案しても、同じ結果になるのではないかなと、個人的には思っているところでございますけれど、町長さんはじめ、斐川町議会のほうでそういう考え方があるということでございますので、我々はその結果を見守りながら対応していきたいと感じております。

[長岡議長]

ありがとうございました。全員の委員の皆さんから一言ずつ頂いたところですが、ほぼ皆さんそろって、民意が反映されるような、さらなる方策が必要だということで、町長さん、町議会をまとめて頂いて、できるだけ早く対応をお願いしたいということだろうと思います。先ほど話も出ておりましたが、お互いそれぞれ市も町もそれぞれ様々な課題も抱えております。いつまでも同じ状況というわけには参らないというのが本音のところだろうと思っておりますので、できるだけ早い段階での決着ということを改めてお願いをさせて頂きたいと思います。

今日のところはそれ以上ございませんが、何か特に言っておきたいということがございましたら。

(発言なし)

では町長さん、最後に決意を述べて頂いて。

[勝部副会長]

決意と申しますか、行政というものは、町民の皆さん、そこにお住まいの皆さん方の意思というものを尊重していかなければならないと思っております。今回の住民投票、先ほども申しあげましたように、9,740票あまりの賛成と6,000票弱という反対というような状況でございまして、正確に資料にも、きちんと比率も書いてありますが、大きな差の中で、本当に少数の皆さん方の意見で反対して良いのかどうか、そういう強い思いを持っております。多くの皆さん方が望まれるという形を成就させるというのが私の務めではないかと思っております。これも先程申しあげましたように、合併に向かって進むということに、少しの揺らぎもございません。議員の皆様方にも再度、12月議会までのところで再度議会を開催させて頂きたい、召集させて頂きたいと思っております。それまでのところで、今回の臨時議会、投票にあるいは思い違いもあったのではないかと考えているところもありますので、そうしたことを再度議員の皆さん方にご理解を頂きまして、本当に自分の思いを投票いただくと、投票と言いましょか、自分の意思を明確にさせていただくということで議会を

開いていきたいと思っております。今日は議長が欠席でございますけれども、直ちに臨時の町議会の開催をお願いしていきたいと思っているところでございます。

いろいろ課題もありますが、委員の皆様方におかれましても、また出雲市民の皆さん、斐川町民の皆さん、どうぞよろしくお願いいたします。

閉 会

[長岡議長]

ありがとうございました。

今日は急な開催ということで、それぞれご予定もあったところ、曲げてご出席を頂きました。いろいろな委員の皆様方の思いというのは十分にお伝えしたと。引き続きの町長さんのご努力を改めてお願い申しあげまして、今日の会を終わらせて頂きたいと思います。今後とも、委員の皆様方には、変わらぬご協力、お力添えを頂きますようお願い申しあげまして、第8回の合併協議会を終わらせて頂きます。

本日は、誠にありがとうございました。

以 上

会 議 録 署 名 人

委 員

山 本 耕 弘

委 員

松 浦 剛 司